

# みんながスポーツを<sup>ま</sup>ち 楽しめる上尾<sup>🐼</sup>

## 新春 市長座談会



平成23(2011)年明けましておめでとうございます。輝かしい希望に満ちた1年がスタートしました。今号の新春市長座談会には、元五輪代表の勅使川原郁恵さん、市内在住で競歩選手の岡田久美子さんをお迎えして、「みんながスポーツを楽しめる上尾～世界を舞台に活躍する2人が語る上尾の魅力と将来像～」をテーマに語り合っていました。



世界を舞台に活躍する2人が語る上尾の魅力と将来像

**市長** 明けましておめでとうございます。上尾市は昭和51年の「上尾市スポーツ都市宣言」を踏まえてスポーツの発展に力を入れてきました。現在では、多くの市民の皆さんが公園や公民館などを利用して、気軽にスポーツや健康づくりをレクリエーションとして楽しんでいきます。そこで今回は「スポーツのまち」として上尾市がさらに発展していくために、冬季五輪に3回出場経験のある勅使川原郁恵さんと市内在住で競歩選手として世界で活躍されている岡田久美子さんをお招きし、「みんながスポーツを楽しめる上尾<sup>ま</sup>ち」をテーマにお話しさせていただきます。  
**勅使川原・岡田** よろしくお願ひします。

### 上尾の印象

**市長** お二人はそれぞれの立場で上尾のスポーツイベントに参加していただいています。上尾にどのような印象がありますか。

**勅使川原** 私は2008年と昨年の「上尾シテイマラソン」、また2009年と昨年の「あげお駅からハイキング」に参加し、NHKの「街道てくてく旅」でも旧中山道を歩きました。参加者も市内外から多くの人が集まって、みんな「てっしー」と気軽に声を掛けてくれるので、上尾のまち

と人が大好きですね。

**岡田** 私はスポーツが盛んな印象です。友人に聞いてもみんな同じ答えが返ってきます。市内にはスポーツ施設や公園も充実していて、私自身も水泳の練習に県さいたま水上公園の室内プールを利用しています。近隣には室内プールのある公共施設がないので、とても恵まれた環境だと思います。昨年、父が初めて上尾



### プロフィール

#### てしがわら いくえ

(元五輪代表ショートトラックスピードスケート選手/ウォーキングキャスター)

1998年長野、2002年ソルトレークシティー、2006年トリノの冬季五輪に3回連続出場。長野とソルトレーク大会では女子3千メートルリレーで4位入賞。現役引退後は、明るいキャラクターと言動で、テレビ、ラジオなどのメディアで活躍中。2009・2010年あげお駅からハイキングに特別ゲストとして参加。2008・2010年上尾シテイマラソンゲストランナー。

◀ 2006全日本都道府県対抗競技会で先頭を滑走する勅使川原さん



プロフィール

**おかだ くみこ**  
(競歩選手 / 大学生)

2008年6月、アジアジュニア陸上競技選手権女子1万<sup>メートル</sup>競歩3位入賞。世界ジュニア陸上競技選手権女子1万<sup>メートル</sup>競歩8位入賞。昨年7月、2度目の挑戦となった2010世界ジュニア陸上競技選手権(カナダ)で3位入賞。同10月の千葉国体では成年女子1万<sup>メートル</sup>競歩決勝で2位(ジュニア日本新)。今後は世界陸上、五輪を目指し、女子20<sup>キロメートル</sup>ロードに挑戦する。現在、立教大学1年生。

◀ 2010世界ジュニア陸上競技選手権で

シテイマラソンのハーフに挑戦しましたが、何かスポーツを始めようと思った時、練習環境や実践する場所があるのが上尾の良さだと思えます。**勅使川原** お父さんも頑張りましたね。

**岡田** 私が競歩で今までの1万<sup>メートル</sup>トラックから女子20<sup>キロメートル</sup>のロードに新しく挑戦するので、娘に触発されたのだと思います。

**市長** 上尾シテイマラソンは、市内外から多くの人が集まる上尾市を代表するイベントとして定着しました。また、あげお駅からハイキングも昨年で3回目となり、最近のウォーキングブームもあって多くの人が楽しみにしているようです。

**勅使川原** あげお駅からハイキングでは荒川沿いを歩きましたが、コースの一部がサイクリングロード(自転車専用道路)にもなっていて、自転車でも走ってみたい気持ちになりました。牧場に牛もいたりとてもどかな所で、毎年ハイキングの合間に手作りジェラートを食べるのが本場に楽しみです。あのようなすてきな場所があるのも上尾の魅力ですね。

競技の魅力

**市長** お二人はスポーツ選手としてそれぞれ素晴らしい実績を残していますが、ショートトラックと競歩という競技を始めたきっかけを教えてください。

**勅使川原** 父がスケートの選手だった影響もあって、初めはスピードスケートをしていました。練習が楽しくて、毎日滑っていたかったのですが、氷の張るシーズン以外は滑ることができないので、父親に相談したところ屋内にスケート場のあるショートトラックを勧められたこと

がきっかけです。自分と同じ小柄な選手の姿を見てこの競技に向いているのではと思いました。

**岡田** もともと走ることが好きだったので、高校ではマラソンや駅伝などの陸上競技を続けるつもりでした。私の高校では、入部した陸上部全員が「100<sup>メートル</sup>を全力で歩け」と言われます。見よう見まねで歩いてみたら「お前は世界を狙える」と顧問の先生が言ってくれたのです。その一言が自信となって本格的に競歩を始めました。

**市長** お二人の才能を見抜き、素晴らしい出会いをくれた両親や恩師のおかげで今の活躍があるのですね。競技を続けていく上で練習がつかったり、苦労したりしたことはありませんか。

**勅使川原** 子どもの頃住んでいた岐阜県にはスケート場がないので、隣の愛知県までの移動が大変でした。毎日送り迎えをしてくれた両親の助けがあって続けることができたのだと思います。

**岡田** 私は長距離走しか経験がなかったのですが、筋肉の使い方が全く違うことに戸惑いがありました。

**勅使川原** ショートトラックは周りに女子選手がいなくて、男子に交じって練習していました。若い時から男子選手と競い合うことで、体格

で上回る海外の女子選手に対しても特に抵抗を感じませんでした。

**市長** お二人はそれぞれの競技の開拓者ですから、身近に強い選手がいらない苦労もあると思います。

**勅使川原** たくさんの人にショートトラックを知ってもらうために、自分が活躍して長野五輪ではメダルを取ろうと考えていました。残念ながらメダルには手が届きませんでした。ですが、続くソルトレークシテイ・トリノ五輪と3回連続で出場することができて、その目的は果たすことができましたと思います。

**岡田** 競歩はあまり一般に浸透していないので、練習をしている姿を笑



われたこともあります。自分方が活躍すること、競歩を多くの人に知ってもらいたいと思っています。

**市長** お二人とも、一般に認知されていない競歩を自分が頑張ること、世間に知ってもらおうという意欲が伝わってきます。岡田さんはどこで競歩の練習をしているのですか。

**岡田** 週に6日練習をしています。熊谷で、残り2日が都内にある大学で練習しています。熊谷での練習のときは大学の授業が終わった後に行くのですが、自宅のある上尾を通り過ぎる時、少し寂しくなる気持ちを抑えるのがつらいですね。わざと寝て考えないようにしています(笑)。

**市長** 競歩に必要な我慢強さは、そんなところでも養われているのかもしれないですね。

**岡田** 競歩そのものが泥臭く、粘り強く取り組まなければいけない競歩ですが、目標を高く持つて上を目指していきたいですね。

**市長** ショートトラックと競歩、それぞれの競歩の魅力を教えてください。

**勅使川原** 普段の生活では決して感じることでないスピード感と選手同士の駆け引きですね。ショートトラックでしか感じることでない魅力があります。

**岡田** 競歩は体力勝負のイメージがありますが、実は爪先から頭のてっぺんまで、体全ての神経を使う、繊細で技術的な競歩です。私はそこに魅力を感じますね。

**市長** お二人とも速さを競う競技ですが、「心・技・体」のバランスが重要なですね。競歩を観戦する時の見方も変わると思っています。

**夢に向かって**

**市長** 岡田さんは昨年、千葉県で開催された国体の1万<sup>5</sup>000で2位という素晴らしい成績を収めています。今後の目標は何ですか。

**岡田** やはり五輪に出場できる選手になりたいです。きょうは、五輪に3回も出場している勅使川原さんにお会いすることができて感激です。

私は上尾が大好きです。来るたびに皆さんに元気をもらえます。



てしがわら いくも 勅使川原 郁恵さん

準備などで気を付けるところはあります。

**勅使川原** 食事は今もそうですが、選手時代は特に気を使っていました。お菓子を食べたりしただけでも体が重くなつて、スケートでカーブを曲がっているときに遠心力で体が持っていける感覚があったりします。選手時代に実感したのは、「人をつくるのは食べ物」だということですね。たかが「食」とおろそかに考えているとすぐに成績に影響が出ます。

**岡田** 食は難しいですね。私も痩せていけば速くなれると勘違いしていた時期もありました。

**勅使川原** 女性にとって食べることは楽しみの一つなので、なかなか難しい課題ですよ。

**市長** お二人は挫折を感じたことはありませんか。

**勅使川原** もちろんあります。体づくりに失敗して落ち込んだり、記録が伸びずに「引退か…」と書かれたり…。そのようなときは夢や目標を思い出して、原点に戻るように心掛けました。また苦しいときは周りの人に助けられ、本当に感謝しています。

**市長** 人は一人では生きていけない人には必ず周囲が手を差し伸べなくてはなりません。

**岡田** 4年に1回の五輪に3回連続で出場していますが、4年間意欲を維持するのは大変ではなかったですか。

**勅使川原** 全然(笑)。4年間はあつ



市長 高村 稷

一生懸命に頑張っている人には必ず周囲が手を差し伸べたくくなります。

将来の上尾に期待すること

**市長** 市民の皆さんは、休日や余暇時間を利用してスポーツや健康づくりをレクリエーションとして楽しんで

という間ですよ。例えば一年ごとに目的意識を持つと良いと思います。1年目はフォームの改造や、スケート靴の変更などの調整の期間とし、2年目は練習に集中して体を作り変え、3年目で完璧に近い状態に仕上げ、試合で実績を残してライバルにプレッシャーをかけていきます。そして次の年は本番ですから、考えているよりずっと時間がないのです。

ですが、スポーツに携わる人の立場から将来の上尾がこうなってほしいなど希望はありますか。

**勅使川原** 私は上尾が大好きです。すでに魅力的なイベントがたくさんあって、来るたびに皆さんに元気をもらえるので、末長く継続していただくことを望んでいます。また、せっかく素晴らしいサイクリングロードがあるのに、駅から荒川沿いのサイクリングロードまで行くための道路が整備されると利用が増えると思います。

**市長** サイクリングロードの整備は県も率先して取り組んでいます。市としても大規模な自転車製造の企業があるので、「自転車のまち上尾」を売り出していくのも良いアイ



おかだ 久美子さん

自分が活躍することで競歩を多くの人に知ってもらいたいと思っています。

デアですね。

**市長** 岡田さんは市民として、上尾のさまざまな大会にも出てきたと思いますがいかがですか。

**岡田** 競技に競歩がある大会が増えるといいですね。競技に早くからなじむことで、上尾から競歩選手がたくさん出て来てほしいです。

**市長** そうですね。今後も多様なスポーツ・レクリエーションができる場を提供していきたいと思っています。多くの市民が気軽に参加でき、健康が増進できるまちとして、さらに発

展させていきたいと考えています。

**勅使川原** 私はマラソンが少し苦手なのですが、水泳は得意なので練習して、近い将来トライアスロンに挑戦したいと思っています。

**市長** 上尾は海がないからトライアスロンは難しいかもしれませんが、もし開催できたらぜひ参加してください。

**勅使川原** 荒川を泳ぐのですか(笑)。

**市長** お二人のように夢に挑戦し続けていけば、きっと新しい可能性が開けます。

最後になりますが、今日は大変夢のある話を聞かせていただきありがとうございました。上尾市も「あなたに」げんきをおくるまち」として、夢を持つ人に元気を送り続けたいと思います。お二人のますますの活躍を心からお祈りしています。今日は本当にありがとうございました。

**勅使川原・岡田** ありがとうございます。